

作成日 令和3年2月19日

令和2年度第5回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会リーダー会議

議事録

日付	令和3年2月19日（金）
時間	10：00～11：30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 福祉センター2階第1研修室
	障害者地域生活支援センターほっと、三光病院、大西病院、東讃保健福祉事務所、ピアサポーター、相談支援事業所EVEN、竜雲メンタルクリニック、高松市障がい者基幹相談支援センター 順不同 計10名

議題1：医療と福祉の連携ワーキンググループの報告	
議事	・保健・医療・福祉支援者交流ワークショップの周知、アピールの仕方について検討していく必要がある。 ・コロナ禍で医療機関ではリモート面会が続いている。医療機関との交流をしていくためにはオンラインを利用してつながることも大切 ・医療との連携について部会でできることを考えてく。
決定事項	2月26日（金）18：30～20：30 部会メンバーでZOOMを実際に利用、体験をする。
今後の動き	・令和3年も保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップは開催していく方向 ・ZOOMの活用を継続的に行い、メリットデメリットについて検討をしていく。 ・次回ワーキンググループ 3月19日（金）10：00～11：00

議題2：ピアサポート活動推進ワーキンググループの報告

議事	・令和3年1月21日（木）ワーキンググループの報告 各機関への周知活動の報告、出てきた課題について共有し、当事者へ向けた周知内容について検討した。ピアサポーターの想いを伝え、なりたい人、活用したい人両方へ向けた周知をしていく。周知後にアンケートを口頭で実施することを決めた。 ・チラシを持参し、周知啓発活動を行ったことで来年度の取り組みにつながった。周知活動後のアンケートでも理解できた、興味を持ったという回答は多かった。 ・ピアサポート活動の有効性の理解については、事業所によって温度差がある。具体的にイメージを持っていない支援者にも有効性を伝えていく方法を検討していく必要がある。 ・ピアサポート活動に興味がある方に定期的に交流する場が必要。 ・来年度から報酬改定があり、ピアサポート活動へのニーズは高まる可能性がある。 ・今の活動を大切にしながら、研修や発表する場の設定等も検討必要
決定事項	なし
今後の動き	次回令和3年3月18日（木）14：00～15：00 ワーキンググループ実施。来年度の方向性について検討していく

議題3：スーパーバイザー派遣、ピアサポーター派遣について	
議事	（1）精神障がい者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に関わる事業について （2）ピアサポートの活用に係る事業
今後の動き	（1）について ・令和3年2月25日（木） 圏域外自立支援協議会精神保健福祉部会 高松圏域における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築の過程についてピアサポート体制の構築、精神科病院への働きかけを中心に報告 ・令和3年2月26日（金） 圏域外自立支援協議会精神保健福祉部会 高松圏域において関係機関とのネットワークをどのように形成して

	きたのか事例を通して解説したうえで、当該圏域では、どのように取り組むべきか検討をする。 ・令和3年2月26日（金） 圏域外自立支援協議会精神保健福祉部会委員 「高松圏域において関係機関とのネットワークをどのように形成してきたのか事例を通して解説したうえで圏域ではどのように取り組むべきか検討する」
--	---

議題4：高齢者分野との連携に関する報告	
議事	・ワーキンググループ内で決定した「精神科病院からの退院支援における取り決め」について部会内で最終確認を行った。 ・退院時支援をお願いする際に、前住所地の管轄の相談先でいいのか検討が必要 ・ケアマネジャーとの研修をワーキンググループと一緒に出来たらいいのではないか
決定事項	来年度4月以降で作成に至った経緯や鏡文等の資料を作成し、自立支援協議会会長の名で精神科病院、相談支援専門員、ケアマネジャー、訪問看護ステーションに周知をしていく。
今後の動き	次回ワーキンググループ：3月16日（水）13：30～14：30

議題5：精神科病院の地域移行に関する取り組み報告	
議事	各病院での動きを報告
決定事項	来年度の取り組みについてコロナ禍の状況や制限も整理していきながら病院内で検討し、方向性を決めていく
今後の動き	変更等あれば部会で共有をする。

次回：令和3年4月16日（金）10：00～11：30

場所：福祉センター2階第1研修室

令和２年度 精神保健福祉部会 リーダー会議

１、日 時：令和２年２月１９日（金）１０：００～１１：３０

２、場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター２階第１研修室

３、出席者：

４、議 事

（１）医療と福祉の連携ワーキンググループの報告（資料１）

（２）ピアサポート活動推進ワーキンググループの報告（資料２）

（３）スーパーバイザー派遣、ピアサポーター派遣について（資料３）

（４）高齢者分野との連携に関する報告（資料４・５）

(5) 精神科病院の地域移行に関する取り組み報告

(三光病院) (資料 6)

(大西病院)

(6) その他

5、次回の会議

日時：4月16日(金) 10:00～11:30

会場：かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室

精神保健福祉部会 医療と福祉の連携ワーキンググループ
資料1

日時:令和3年1月22日(金)10:00~11:10

場所:リハビリテーションセンター第1研修室

参加者:相談支援事業所 EVEN、地域活動支援センタークリマ、障害者地域生活支援センタほと 3 機関 3 名

保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップの振り返りと今後の開催について

(議論)

- ・結果としてリモートの参加はなかったものの、対面とリモートが選択できる方法は良かったのではないかな。
- ・対面では直接会って話すことの重要性を再認識することができた。
- ・参加者 10 名ぐらいの対面では人との距離があったので声が聞こえにくかった。(机の配置の工夫やパテーションを活用してもよかったのではないかな)、
- ・コロナの影響からか、医療機関の参加者の少なさが気になった。医療関係者の参加しやすい時間帯や条件も確認する必要があるのではないかな。
- ・直接の対面参加が難しい機関もあったが、リモートの活用については、今後進んでいくのではないかな。(病院によってはリモートでの面談をしているところもある)
- ・感染リスクの比較的低いと思われる夏場に対面開催にて行い、リスクの高い冬場にリモート開催を行うなど、開催方法と時期を分けてもいいのではないかな。
- ・実際はリモート開催ができなかったため、実際のイメージを持つためにも、まずは関係者にてリモート飲み会などを行ってはどうか。(ZOOM であればチャットの利用やホスト・サブホストの確認ができる)
- ・医療機関のリモート活用については病院内等では進んでいるかもしれないが、関係機関との連携への活用は機関によってさまざまである。今後、部会からの働きかけも検討していくとともに、医療機関等の取り組みについて好事例があれば部会への反映を行ってはどうか。

➡基本的には令和3年度も保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップは開催していく方向で考えていく。まずは部会内メンバーによる ZOOM の実際利用を行っていく。

また、事前資料の有無についても検討していく。

<次回 WG について>

・次回 3/19(金)10:00~11:00 かがわ総合リハビリテーションセンター

資料 2

第 4 回 令和 2 年度 ピアサポーター活動推進ワーキンググループ

日 時	令和 3 年 1 月 2 1 日（木） 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
場 所	合同庁舎 4 階
メンバー	ピアサポーター 5 名、香川県精神保健福祉センター、高松市障がい者基幹相談支援センター 計 8 名

1. 各機関への周知活動の報告・出てきた課題について共有

周知先	出てきた意見・課題	今後の予定 継続した取り組みについて
精神科病院 12 月 7 日（月） デイケアメンバー 1 月 12 日（火）	意見 ・パンフレットの感想。わかりやすかった。 ・ピアの活動を知っていたのでイメージをしやすかった。 ・メンバー 7 名へ向けて周知後、口頭でアンケートを実施。	・デイケア登録が 40 名あり、今後数回に分けて周知予定。
地域活動支援センター 12 月 10 日（木）	・パンフの説明 意見 ・ピア相談や継続した活動へ繋げていければ	・1 月 28 日（木） グループホーム、作業所、地域活動支援センター利用の当事者へ向けて周知 職員が事前にピアへの質問を集約 案 ・地域活動支援センターのプログラムの活動へ入っていく
障がい者地域生活支援センター 12 月 14 日（月）	・ B 型事業所職員も一緒に話を聞いてくださる。 意見 ・支援者側への働きかけ等対象を絞った周知活動も必要 （ピアサポーターについて知らない方に向けても） ・相談支援部会など支援者の会へ出向いて周知、活動の内容を伝えていく ・ピアサポーターについての情報の一覧があればわかりやすい。（例：顔	・事前に広報誌で周知。2 月 1 日に当事者へ向けて案内予定

	写真、活動内容、対応)	
グループホーム 12月17日(木)	意見 ・はばたきの活動を取り上げえほしい。自主的な活動を今後してほしいと意見をもらう。 振り返り ・ピア活動について、具体的に知らない方にはイメージがしにくい面もあったのでは。最初に「ピアサポーターとは」という説明が必要であった。	・コロナの感染防止のため、当事者へ向けては中止。
圏域内保健所 12月17日(木)	意見 ・当事者へ向けて「なりたい人」か「相談したい人」か対象を絞ったほうがいいのではないか ・母子に関わっている保健師には子育ての悩みなどニーズがあるかも ・依頼を支援者から受けるため、まずは支援者への周知が必要 ・うつ病の方(うつ病家族教室) ・セミナーやデイケアのプログラムへの導入を検討 ・支援者からの依頼の場合、支援者とピアへの相談の必要性について意見が分かれた場合、本人との関係性もあり、難しい面がある。 ・支援者からの依頼であれば市民へ向けて広く周知は難しく窓口へパンフは設置できない。	・2月1日所内の連絡会内でパンフの周知をしてくださる。 案 ・保健ステーション7か所の保健師へ向けてピアサポーターがプレゼン・質疑応答 ・セミナーや統合失調症家族教室での15分プレゼン ・来年度のセミナーやデイケアのプログラムへの導入 ・個別支援について家族へ向けて本人とのかかわり方について等の派遣
精神科病院 12月18日(金)	意見 ・以前キャラバン隊の受け入れをした。 ・派遣の仕組み、将来ピア一人での派遣、その場合のトラブル等の対応について質問あり ・当事者でピアに興味がある方は少人数 ・ピアの派遣は特定の方に偏っていないか質問あり	・コロナ禍のため、当事者へ向けての周知は中止
地域活動支援センタ	意見	・2月末のピア学習会にて当

— 12月24日（木）	・ひきこもりや未治療の方へ向けてハードルは高いが、必要性はある。 振り返り 外部のピアも、経験を生かして入っていけたら良いのではないかな	事者へ向けて案内 案 ・3月末にピア学習会内で来年度のプログラムでピアに相談したいことの見を募り、対象のピアの派遣を依頼
精神科病院 12月17日（木）	・デイケアメンバー内で新規にピアに登録をされた方がおり、その方を通して活動に興味を持っている。	・2月1日 デイケアメンバーへ周囲

その他：

- ・具体的なイメージを持ってもらえるように周知必要
- ・ひきこもりの方へのピアの介入
- ・ピア派遣について、支援者から依頼受け、相談にも支援者に同席をしてもらっているが、その体制について今後検討が必要。現在の体制では柔軟な対応ができない。当事者から直接依頼があった場合等。「広く活動をしってもらいたい」と「派遣は慎重に行いたい」との差をどう埋めていくか。

2. 当事者へ向けて周知内容の検討

- ・ピアについて、イメージを持っていないところへ向けては、「想い、目的」を伝える。
- ・外出同行とは…入院患者様と買い物へ同行した
- ・アンケートを今後の周知先でもとり、集計してはどうか
（同じ内容、口頭）
 - ①パンフレットは分かりやすかったですか
 - ②ピアに興味を持ちましたか
 - ③ピアになりたいですか
 - ④ピアを活用したいですか
- ・個別支援…子育てや就労の悩み、孤独感について
- ・ピアサポーターの今までの経験も伝える。経験を活かしピアになってよかったことも伝える。
- ・になりたい人、相談したい人両方へ向けて周知していく

次回：令和3年3月18日（木）14：00～15：00

場所：香川県合同庁舎4階

令和２年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業
スーパーバイザー及びピアサポーター派遣業務 実施報告書

(１) 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業

本事業の内容	高松市内グループホームにスーパーバイザーを派遣
日時	令和2年12月3日（木）10：00～11：30
本事業の成果	・成 果：個性を重視していくことの意味を感じ取っている方には、研修を通して、その価値観を見い出していく機会にはなったと思う。加えて、グループホーム側がすべて抱え込むことでなく、相談支援事業所など、関係機関と連携を取りながら、本人を支えていくことの必要性を考えることは出来た。

本事業の内容	高松市●●地区民生委員児童委員協議会にスーパーバイザーを派遣
日時	令和2年12月25日（金）15：30～16：00
本事業の成果	・成 果：公的サービスを利用しながら地域で生活している精神障がい者の理解は進んだと考えられる。

本事業の内容	圏域外保健福祉事務所「家族の学習会」にスーパーバイザーを派遣
日時	令和3年1月12日（火）13：30～14：30
本事業の成果	・成 果：サポートマップと資料をもとに、精神障がい者の利用できる障害福祉サービスとその相談の流れについての確認を行うことができたのではないかとと思われる。

本事業の内容	高松市内訪問介護事業所にスーパーバイザーを派遣
日時	令和3年2月15日（月）10：00～11：00 13：30～14：30 令和3年2月16日（火）10：00～11：00 13：30～14：30

本事業の内容	圏域外自立支援協議会精神保健福祉部会にスーパーバイザーを派遣（予定）
日時・内容	・日 時：令和3年2月25日（木）14：00～15：30 ・内 容：高松圏域における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築の過程についてピアサポート体制の構築、精神科病院への働きかけを中心に報告する。
本事業の成果	・成 果： ・課 題：

本事業の内容	圏域外自立支援協議会精神保健福祉部会にスーパーバイザーを派遣（予定）
日時・内容	・ 日 時：令和3年2月26日（金）13：30～15：00 ・ 内 容：高松圏域において関係機関とのネットワークをどのように形成してきたのか事例を通して解説したうえで、当該圏域では、どのように取り組むべきかについて検討する。
本事業の成果	・ 成 果： ・ 課 題：

本事業の内容	圏域外入所施設、通所施設にスーパーバイザーを派遣（予定）
日時・内容	・ 日 時：令和3年3月10日（水）14：00～15：15 ・ 内 容：精神障がい者に対するかかわり方に関する講義
本事業の成果	・ 成 果： ・ 課 題：

※令和3年2月15日（金）老人介護支援センター相談協力員会スーパーバイザー派遣 新型コロナウイルス感染症の影響で延期

（２）ピアサポートの活用に係る事業

本事業の内容	市内に在住の精神障がい者宅にピアサポーターを派遣
研修内容	・ 日 時：令和2年12月2日（水）13：00～14：00 令和3年1月20日（水）13：00～14：00 2月17日（水）13：00～14：00 ・ 場 所：市内に在住の精神障がい者宅 ・ 内 容：保健師同行の元、ピアサポーターによる相談支援

本事業の内容	老人介護支援センター相談協力員会にピアサポーターを派遣
日時	・ 日 時：令和2年12月3日（木）10：00～11：00
本事業の成果	・ 成 果：言いたいことを伝えることができた。 ・ 課 題：配布資料を準備しておく良かったまた、。ピアサポーターとしても相談員としても、様々な課題や日々の事例に取り組み経験を積んで、障害者である私の目線で何かお話できるようになれたらと考えている。

※令和3年2月12日（金）老人介護支援センター相談協力員会ピアサポーター派遣 新型コロナウイルス感染症の影響で延期

令和 2 年度 第 3 回 精神保健福祉部会 高齢者福祉分野との連携に関するワーキンググループ報告

1、日 時：令和 3 年 1 月 29 日（金）13：30～14：30

2、場 所：高松市社会福祉協議会東館 2 階南会議室

3、参加機関・参加人数

高松市地域包括支援センター 高松市障がい福祉課 高松市健康づくり推進課
ビートかがわ 大西病院） 三光病院 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 合計：5 機関 5 名

4、精神科病院からの退院支援における取り決め（案）の検討

資料 1 の最終確認を行い、最終案として仕上げる。今後は、2 月 19 日（金）の精神保健福祉部会コア会議、3 月 12 日（金）の運営会議に案を提出する予定。

5、「精神科病院からの退院支援における取り決め」の周知について

- ・高松圏域自立支援協議会会長名で周知する。
- ・精神科病院：WG に参加していない精神科病院については、訪問して周知する予定。
- ・相談支援専門員：基幹相談支援センター地域拠点・中核拠点合同会議、高松圏域自立支援協議会相談支援部会で周知する予定。
- ・ケアマネージャー：高松市のケアマネージャーが所属している協議会名を調べ、会長に周知する予定。また、必要によって各団体に周知に出向くことができることを伝える予定。
- ・訪問看護ステーションが所属しているネットワーク会議（正式名称は、不明）」に参加して周知する予定。

6、次回ワーキンググループ

- ・日 時：3 月 16 日（火）13：30～14：30
- ・場 所：高松市社会福祉協議会東館 2 階南会議室
- ・内 容：「精神科病院からの退院支援における取り決め」の周知時に活用する資料の作成

三光病院 WG 報告書

病院名	三光病院
作成日	令和 3 年 2 月 5 日
内 容	<u>1.病院ワーキンググループ実施状況</u> ①退院支援プログラムの実施状況 【いろどりグループ】 奇数月 第 2 火曜日 14:30～ メンバー構成を見直している。 1/12 は自己紹介とゲーム 【笑顔を広げる会】 毎月 第 4 火曜日 14:30～ メンバー構成を見直している。 1/26 は新年のワークシートを記入してもらう  【東 3 いろどりグループ】 昨年退院者が数名出ていること、本来対象にしたい長期入院者がグループ活動への参加を拒否しているなどの現状から東 3 単独での活動が難しくなっている。そのため、今年から東 3 単独でのいろどりグループは中止とし、いろどりグループに東 3 メンバーを加えて活動していくこととする。 <u>2.地域移行支援について</u> 特になし

印

病院ワーキンググループ報告書

病院名	大西病院ワーキンググループ
内 容	<u>1.病院ワーキンググループ実施状況</u> ①退院支援プログラムの実施状況（プログラムの様子、参加者の反応など） 来年度の方向性について病院スタッフでミーティングをおこなっていく予定。今年度のメンバーの様子やコロナでの制限の状況など整理していきながら個別支援の検討・来年度のプログラム内容・新たな対象者について協議していく。 ②地域移行支援の実施状況 ・地域移行支援利用者 T 氏(とびたち倶楽部参加者) コロナで十分な支援が期待できないこともあり、地域移行支援の期間が 11 月で切れる。現在は相談員と電話での面談を定期的におこなっている。またグループホームへの体験入所を検討している。 ・地域移行支援利用者 M 氏 相談員がついていて定期的に本人とリモート面会のみ続けている。 ・N 氏(とびたち倶楽部参加者) 退院への不安が強い方であったが、退院支援プログラムへの参加は継続しており、前向きな発言も徐々に見られるようになる。地域移行支援の対象者として検討していたが、コロナの影響もあり、まずはグループホームへ体験入所してみてもどうかと思われた。 しかし、グループホームも見学されるが、気持ちが揺らいでおり、消極的である。